

7. 二枚貝資源緊急増殖対策委託事業

木村竜太郎・岩永俊介・桐山隆哉

本事業は二枚貝類の人工種苗生産技術の開発と二枚貝資源の増大手法の確立を目的に、平成26年度から（国研）水産研究・教育機構（西海区水産研究所，瀬戸内海区水産研究所）と有明4県の連携により実施している。長崎水試では、「長崎県地先における親貝の分布と親貝の育成」を課題とし、平成29年度は諫早湾内におけるタイラギの分布調査を実施した。

タイラギの調査点あたりの分布は、諫早湾北岸の干潟では、春に3調査点で7～9個体（平均殻長20 cm），

冬に2調査点で33，44個体（24 cm），諫早湾南岸の干潟では、冬に1調査点で79個体（19 cm）が確認されたが、生息密度はいずれも0.01個体/m²未満であった。諫早湾北岸の浅場の潜水調査では、冬に3調査点中1点で2個体（23 cm）が確認された（0.02個体/m²）。なお、事業の詳細については「平成29年度二枚貝資源緊急増殖対策委託事業報告書」を参考にされたい。

（担当：木村）